

政務活動費調査研究報告書

会派名 新生・市民クラブ

氏名 大塚正俊

日 程	令和 5 年 10 月 17 日（火）午後 1 時～3 時
場 所	兵庫県明石市役所、ウィズあかし「つながる本棚『hito-hako』」
相 手 方	明石市政策局市民相談室；能登室長、藤田係長 シティセールス推進室本のまち推進課
参加議員 氏 名	大塚正俊、千木良孝之、須賀要子、木佐貫佳子
目 的	明石市のこども養育支援やまちなか図書館事業等について現地調査を行い、ひとり親家庭の伴走型支援のあり方や本を通じた地域コミュニティの再生を探る。
内 容	<p>■明石市は、神戸市や大阪市、阪神間のベッドタウンとして住宅が造成され、今なお人口や子どもの数が増加しています。福祉と本のあるまちづくり、観光を重点施策として取り組んでいます。行政面積；49.42 km²、人口；305,797 人。</p> <p>■視察概要</p> <p>1. 離婚前後のこども養育支援について</p> <p>明石市では、まちの未来でもあるこどもを社会全体で守り、健やかに育てていく視点から、離婚や別居に伴う養育費や面会交流などの「こどもの養育支援」として、平成 26 年 4 月から「明石市こども養育支援ネットワーク」の運用を開始し、取り組んでいます。</p> <p>(1) 明石市こどもの養育費に関する条例について</p> <p>令和 5 年 4 月、こどもの養育費確保支援に関する施策を総合的かつ継続的に推進するため、新たに条例を制定しています。</p> <p>(2) 離婚前後のこども養育支援について</p> <p>①養育費取り決めサポート事業</p> <p>こどもが養育費を確実に受け取れるように、養育費の取り決めを調停調書や公正証書などの公的な書類として作成することを支援しています。</p> <p>②こどもの養育費立替支援事業</p> <p>養育費が支払われないときに、養育費を支払うべき義務者に対して、市が働きかけをし、それでも支払いがない場合に、養育費を受け取るべき人に対して、市が立替払い（最大 3 か月</p>

	<p>分、上限月額 5 万円) をした上で、義務者に対して督促をしています。</p> <p>③養育費差押えサポート事業</p> <p>調停調書や公正証書などの債務名義で養育費の取決めをしたけれど、実際に受け取ることができていない場合に、養育費を受け取るべき人が裁判所でする差押え等の手続の費用を補助しています。</p> <p>2. 明石まちなか図書館事業について</p> <p>明石まちなか図書館は誰もが気軽に本を手に取り、読書を楽しめる「まちの小さな図書館」です。</p> <p>信金中央金庫からの企業版ふるさと納税を活用し、市と日新信用金庫との連携事業として「明石まちなか図書館」が 2022 年 4 月 22 日にオープンしました。明石市内には公共施設だけでなく、個人の自宅やお店に市民の方が気軽に本に親しむことができるブックスポットが 69 ヶ所あります。</p> <p>ブックスポットとは、個人宅や小さな組織、お寺や病院などスポットの大きさや種類は問わず、本をきっかけに人や新しい考えなどに出会える場所（公設私設図書館、まちライブラリーなど）の総称です。「明石まちなかブックスポット MAP」は、市内各所にあるブックスポットを地図と一緒に紹介しています。親子が気軽に本や絵本を通じての仲間づくりの場を探すことや、ひきこもり対策支援のための地域の居場所を紹介することに活用されています。</p> <p>■説明資料（別紙参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明石市ども養育支援事業実績 R5.9 末時点 ・ 「ブックスポット」視察質問項目-回答
成 果	<p>明石市では、全国的にも先駆的な「離婚前後のこども養育支援事業」が推進されています。これらの事業は中津市では取り組まれていない支援策であり、まずは「養育費取り決めサポート事業」の実施を手始めに、ひとり親となった後も安定して暮らしていける事業実施を求めていきたいと考えます。</p> <p>また、市内各所に市民の方が気軽に本に親しむことができるブックスポットを設置し、親子が気軽に本や絵本を通じての仲間づくりの場を提供するとともに、ひきこもり対策支援のための地域の居場所づくりに活用されています。中津市では移動図書館車で貸出をしていますが、市内の銀行、コンビニ、店舗などの協力を得て、ブックスポットの設置ができないか模索していきたいと思えます。</p>